

特集 自動車保険

法令改正踏まえて

新たな代理店支援体制

損害保険業界で顧客
本位の販売体制確立へ
向けた動きが加速する
中、損保各社は代理店
への新たな支援体制を
打ち出している。法改
正や業界の自主的な取
り組みが始まる中で、
代理店との共存へ向け
て試行錯誤が続く。

2025年8月に保険
業界向けの監督指針が改
正され、損保は「代理店
への過度な利益供与がで

自己点検チェック
シート本格運用

共存へ



顧客に最適な提案をするために

保険料引き上げ
納得できる環境を
ただ、自動車保険では
保険料の引き上げが、修
理費や損害調査費の上昇
を吸収しきれなかった。
三井住友海上、あいおい
ニッセイ同和、損害保険
ジャパンは、異常危険準
備金(単年度の収入保険
料では吸収しきれない事
案に備えて積み立てるも
の)の繰り入れ前の保険
引受利益(自動車保険の
み)は赤字だった。各社
は近年、支出面で保険修
理費用の計算に使う「指
数対応単価」を引き上げ
る一方、収入面では保険
料引き上げに動く。代理
店、修理工場、契約者が
納得できる環境を整備す
るため、損保各社は今後
も多様な施策を打ってい
くことが予想される。

保険料引き上げ
納得できる環境を

東京海上日D傘下の東
京海上日動、MS&AD
HD傘下の三井住友海
上とあいおいニッセイ同
和、SOMPO HD傘
下の損保ジャパンとも、
自動車保険は正味収入保
険料全体に占める割合が
4〜6割を占める収益の
柱だ。

最高益を更新。東京海上
HDも過去最高の水準だ
った。

試行錯誤繰り返す損保各社

保険業法改正とは別
に、業界の主体的な取り
組みとして、4月からは
「自己点検チェックシー
ト」の本格運用も始まっ

た。比較説明を行う際
に、誤認する恐れのある
表示や説明を行っていない
か、といった質問項目
に代理店がチェックを付
けていく。チェックを付
ければ完了ではない。未
実施や改善の必要がある
項目については、改善へ
の具体的計画、実施時期
などを記載しなければな
らない。損保各社は、チ
ェックシートの結果を代
理店と分析し、改善策を
進めるという仕組みだ。

三井住友海上火災保険
は、ディーラー代理店な
どの店舗運営を支援して
いる「ヘルプデスク」の
サービスを拡充する形で、
保険関連業務を請け
負う「サポートデスク」
を設置する。12月の改正
公益通報者保護法の施行
も見据えて、内部通報制
度の導入に向けたセミナ
ーも実施予定だ。

あいおいニッセイ同和
損害保険は、代理店向け
に、募集人の教育システ
ム「ADキャリアアカレッ
シ」を提供している。商
品・事務知識、システム
操作、法令順守など20
0超のコンテンツを有
し、募集人の知識・スキ
ル向上を支援している。
なお、三井住友海上と
あいおいニッセイ同和は
27年4月の合併を控え
て、26年4月から共通の
「品質・体制評価制度」
を運用している。

損害保険ジャパンは7
月以降、ディーラー代理
店向けに「保険金不正請
求防止ワークショップ」
を実施する。実際にあつ
た不正事案を用いたケー
スタディーにより、代
理店の職員が現場で気付
くべきポイントを伝授す
る。

契約者への利便性向上
も打ち出す。共栄火災海
上保険はスマートフォン
アプリで事故・故障時に
対応手順を案内したり、
位置情報をロードサービ
スへ発信するサービスを
提供している。

大手損害保険グルー
プの業績は絶対好調だ。26
年3月期は、好調な海外
事業や自然災害の減少を
追い風に、MS&ADイ
ンシュアランスグループ
ホールディング
ス(HD)
とSOMPO
HDが過去

大手損害保険グルー
プの業績は絶対好調だ。26
年3月期は、好調な海外
事業や自然災害の減少を
追い風に、MS&ADイ
ンシュアランスグループ
ホールディング
ス(HD)
とSOMPO
HDが過去

大手損害保険グルー
プの業績は絶対好調だ。26
年3月期は、好調な海外
事業や自然災害の減少を
追い風に、MS&ADイ
ンシュアランスグループ
ホールディング
ス(HD)
とSOMPO
HDが過去

大手損害保険グルー
プの業績は絶対好調だ。26
年3月期は、好調な海外
事業や自然災害の減少を
追い風に、MS&ADイ
ンシュアランスグループ
ホールディング
ス(HD)
とSOMPO
HDが過去

地域とともに
安全・安心な
町づくりを。





そこに、人がいる。

自動車保険は三井住友海上

三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

自動車保険各社の商品&取り組み

「スマプラ」で快適な保険加入体験

三井住友海上火災保険

三井住友海上火災保険は、自動車保険の保険料試算やプラン設計を、お客さまのスマートフォンで実施可能な「スマートプランニング」(以下、スマプラ)の展開を進めている。

自動車保険の加入は、車両注文から納車までに来店・対面で行う形が主流だ。スマプラではお客さま自身のセルフ試算や、代理店から案内するお勧めプランとの保険料比較をスマートフォン上で実施できるほか、納車日が近づいたタイミングでの確認メール通知など、お客さま主体の快適な保険加入体験を提供する。



スマートプランニング ご利用案内動画



代理店にとっては、保険提案の均質化・効率化が期待できる。加えて、お客さまの操作

寄与

また、同社のお客さま対応デスクが代理店に代わって商談・契約手続きを有償で分業する新たな販売モデルについても、スマプラを入り口に運営している。実際に利用した募集人からは、複数台保有などの高度な提案を要する案件を中心に定評があり、お客さまからも「きめ細やかな案内で安心感が高まった」といった評価を得ている。

代理店の募集体制整備にも

同社は、お客さまの利便性を高めながら、代理店の体制整備にも寄与する側面を持つ「スマプラ」の展開を通じて、更なるお客さま提供価値の向上を目指す。

DAP特約 手厚い救急対応体制

東京海上日動火災保険

東京海上日動火災保険は、「ドライブエージェントパーソナル(DAP)特約」の独自性に磨きをかける機能・サービス改善を進めてきた。事故の瞬間からリアルタイムで映像を確認して救急対応を行う「二段階映像転送機能」(音声通話と映像転送を同時に行う特許取得済みの技術)と、1事案に3人体制でお客さまのサポートを行う手厚いコールセンター体制で救急要請を迅速かつ丁寧に進めている。この他にも救急車両が現場到着するまで通話を継続してお客さまに寄り添うサポートを行うなど、一連の救

お客さまに寄り添うサポート

また、今年1月発売の新型モデル

1秒でも早く安心と安全

ルではこれらのサービスを実現するドライブレコーダー型の端末を小型化し、自己負担のない取付サポートを備え、特約保険料は月額500円※まで価格を抑えている。同社は、事故に遭ったお客さまが最も不安に感じる事故直後の瞬間から、1秒でも早く安心と安全をお届けたいという強い思いの下、同サービスを業界で初めて開発し、進化させてきた。こうした取り組みを通じて、一般的なドライブレコーダーでは得られない安心・安全の価値を、お客さまに広くご理解してもらい取り組みを推進していく。

Drive Agent Personal

東京海上日動の自動車保険加入者向けサービス
ドライブエージェントパーソナル(DAP)

もしもの事故でも“1秒でも早く”
ドライブレコーダーが安心と安全をお届けします。

「いざ」という時も

迅速で安心な事故受付サービス

もしもの事故時に、自動発報から2分前後*1で救急要請まで完了！
お客様の「いざ」をお守りする通信機能付きオリジナルドライブレコーダーです。
*1 過去の実績の平均値をもとにした記載であり、全てのケースをお約束するものではありません。

事故後の対応も

早期解決支援サービス

各種機能でお客様による事故状況等の説明のご負担を軽減し、事故後の対応を迅速にサポートします。

安全運転をサポートする

日頃から使える機能

いつもの運転時も、安心のカーライフを実現する様々な機能でお客様の安全運転をサポートします。

新型・事故自動通報
ドラレコ2カメラ一体型
ドラレコ

サービスの概要について動画でもご案内しています

2分でわかる！DAPの魅力

お客様のものとへ、1秒でも早く。

「もしもの事故でも“1秒でも早く”」

新型・事故自動通報
ドラレコ

「充実した機能が魅力」

2カメラ一体型
ドラレコ

ドライブエージェントパーソナルでは「事故発生時の通知等に関する特約」をご契約いただいたお客様に対して東京海上日動がドライブレコーダー端末を貸与し、「安心・安全」をお届けするサービスをご提供します。

ご契約のお車が二輪自動車、一般原動機付自転車および特定小型原動機付自転車以外のご契約でご利用いただけます。

2026年1月以降始期のご契約の場合、端末は2種類あり、「新型・事故自動通報ドラレコ」は保険期間7年以内、「2カメラ一体型ドラレコ」は保険期間3年以内のトータルアシスト自動車保険・TAP(ノンフリート契約)・トータルアシスト超保険のご契約でご利用いただけます。

こちらは「ドライブエージェントパーソナル(事故発生時の通知等に関する特約)」の概要を記載したものです。特約の適用には一定の条件があります。なお、ご契約にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、代理店または東京海上日動までお問い合わせください。

0193-ET38-B18094-201811



東京海上日動

www.tokiomarine-nichido.co.jp

損害保険ジャパンは、事業者向けの通信機能付ドライブレコーダー「スマイリングロード」を2026年5月に機能拡充した。累計導入台数18万台を突破する同サービスのリニューアルにより、利用事業者の事故防止と車両管理業務のDXを強力に支援する。

今回の目玉は「アルコルチェック機能」の刷新だ。従来のエクセル管理から、ドライバが専用のスマホアプリで直接検査結果を登録し、管理者が管理者用ウェブサイトで一括承認する仕組みへ移行した。直行直帰など多様な働き方に対応しつつ、業務の大幅な効率化と法令順守の両立を実現する。

利用事業者を強力に支援

また、安全運転指導に不可欠な「リクエスト動画機能」も強化した。SDカードを抜かずに管理者用ウェブサイトで1時間停止などの特定シーンを指定して動画を取得できる同機能の利用枠を、従来の月1回から月2回へと倍増。これにより具体的なかつタイムリーな安全運転指導が可能となる。

さらに、これまでエクセル形式のみだった日報のデータ出力をCSV形式でも対応可能にした。事業者が独自に導入している既存の運行管理や勤怠管理システムとの連携や分析を容易にし、「デー

SMILING ROAD

スマイリングロード



「スマイリングロード」の機能拡充

タの高度な経営活用を後押しする。単なる事故防止にとどまらず、事業者の生産性向上や管理負担軽減に踏み込んだ今回の拡充。同社は今後も先進的なテレマティクスサービスを通じて、企業の持続的成長と安全な社会の実現に貢献していく。

「マイページ」で代理店の負担軽減

共栄火災海上保険は、2023年にお客さま専用ウェブページ「共栄火災マイページ」を開発した。同サービスでは、自動車保険の契約内容照会や各種手続きがオンラインで完結し、24時間365日、場所を問わず利用できる。保険募集から契約締結まで完全ペーパーレス化を実現することで、代理店の事務負担軽減に貢献している。24年には住所・電話番号変更や事故受付機能を追加し、サービスの拡充と顧客の利便性、満足度の向上を図っている。

一方、25年度からは災害対応力強化にも着手。委託代理店による連携型BCP（事業継続計画）組織「KPCネットワーク」を発足した。この組織は、専業代理店を中心に、地域に密着した保険の普及活動や社会貢献、研修活動

を目的として設立された「共栄プロクラブ（KPC）」を基盤としている。KPCは全国18拠点で活動しており26年3月末時点で343名を擁している。KPCネットワークは地域密着型の代理店が相互に連携し、有事の際には顧客の安全確認、事故受付、保険会社への事故報告に加え、継続・新規契約手続きなどのサポートを実施する。これは業界初の取り組みとして順次展開が進められている。

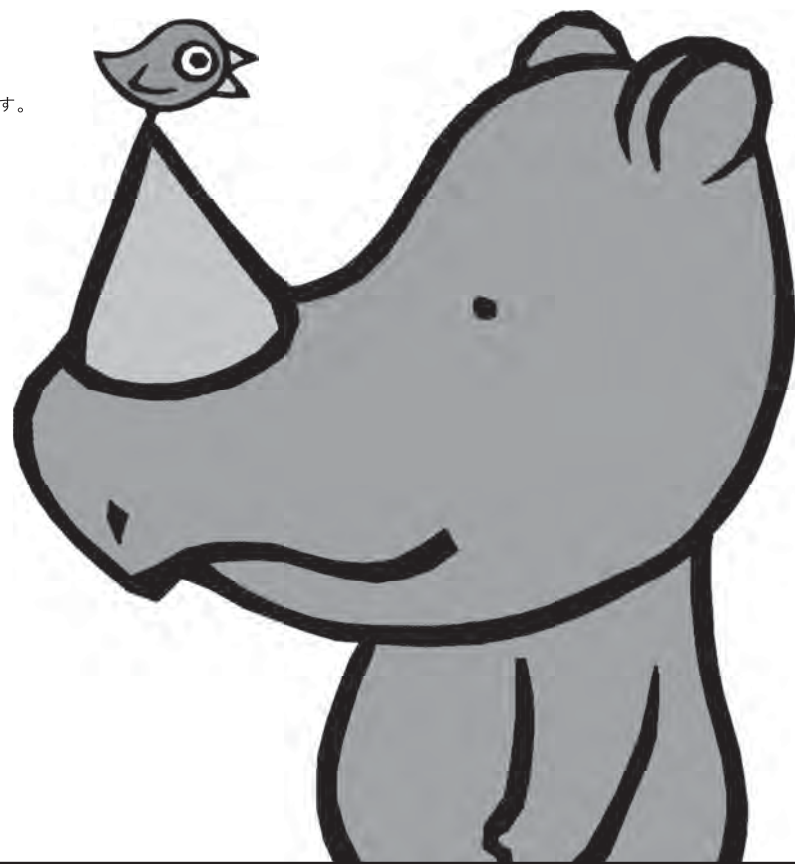
委託代理店の提携型BCP組織も発足

強化を通じて、顧客の利便性と満足度の向上を目指すとともに、すべてのステークホルダーから「必要とされる会社」となるための取り組みを推進している。

一緒にずっと。安心をもっと。

いつもそばで、みんなの暮らしを見守ること。
いつまでも、みんなが笑顔で暮らせるように、心からの安心をお届けし続けること。
それが、わたしたち共栄火災の使命です。
あなたが辛い時は、ともに壁を乗り越える。
そして嬉しい時には、一緒に笑いあえる。
そんな、あたたかい保険会社であるために、いつでもまごころを込めて、暮らしを支えています。

共栄火災



共栄火災海上保険株式会社
〒105-8604 東京都港区新橋1-18-6
<https://www.kyoeikasai.co.jp/>

事故低減支援サービスの提供開始

あいおいニッセイ同和損害保険

あいおいニッセイ同和損害保険は、事業者向け自動車事故低減支援サービス「Bizセイフティ」を2026年1月5日より、自社の自動車保険加入の有無を問わずすべての国内事業者へ提供を開始した。

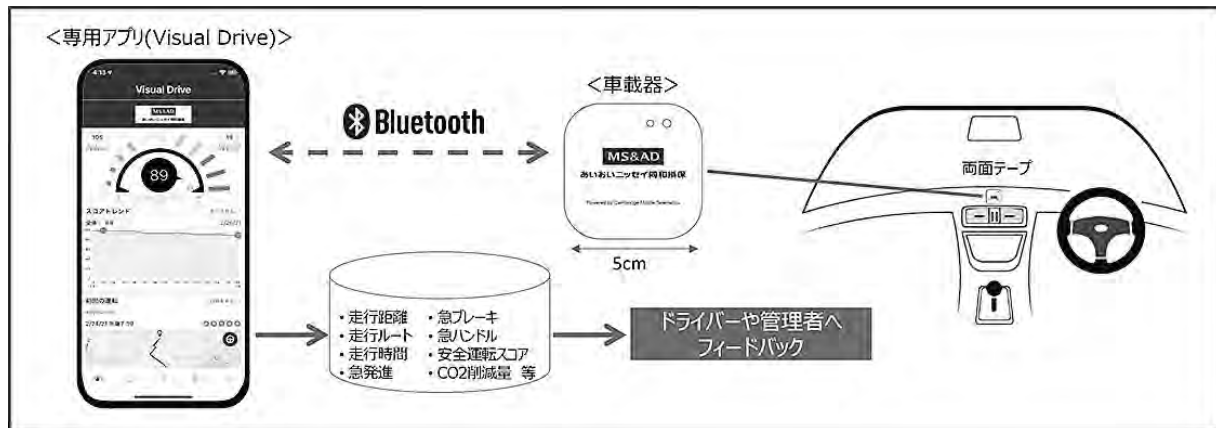
本サービスは、同社指定の車載器から得られた走行データを収集・分析し、専用のスマートフォンアプリ「Visual Drive」を通じて安全運転スコアや運転アドバイスを提供することで事故低減を支援する。車載器は電池内蔵で容易に設置が可能。

運転特性分析や安全運転診断

社有車に導入した場合、従業員向けの運転特性分析や安全運転診断を提供する機能のほか、管理者向けのドライバーごとの運転評価や車両位置情報など、車両管理の効率化にも寄与する。

一方、マイカーへの導入では、安全運転意識向上や通勤時の事故リスク低減に活用できるほか、条件達成により保険料割引が適用される仕組みもある。企業の安全対策と運用効率化を幅広く支援することができ、社有車は600円（消費税込み）、マイカーは500円（同）で利用が可能。

今後も同社はテレマティクス自動車保険のノウハウなどを活用した取り組みで事故低減に貢献し、安全・安心な社会の実現を後押ししていく。



事業者向け 自動車事故を削減できる通信機能付ドライブレコーダー

SMILING ROAD

スマイリングロード

おかげさまで

累計導入台数 **18** 万台*突破

※2022年7月～2026年3月の累計導入台数

GOOD DESIGN
AWARD 2020

スマイリングロードは2015年3月に損害保険業界初のテレマティクスサービスとしてリリースしました。
2022年に端末リニューアルを行っており、さらに高いパフォーマンスを発揮できる事故防止サービスをリーズナブルな価格で提供します。

導入前後の
事故件数を
比較した場合

14%
削減

A社
介護事業

26%
削減

B社
販売業

33%
削減

C社
運送業



初期費用 **0円** /
1台あたり月々
1,500円
(税込)

SMILING ROAD
ウェブサイトは
こちらから



インカメラ
月額 **+200円**
(税込)
/1台



リアカメラ
月額 **+200円**
(税込)
/1台

損保ジャパン

お問い合わせ先
損害保険ジャパン 株式会社 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 <https://www.sompo-japan.co.jp/contact/>

・SMILING ROAD(スマイリングロード)は法人・個人事業主向けのサービスです。
・こちらは概要を説明したものです。詳しい内容につきましては、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。